

阪神電鉄 その1 社名

阪神電鉄は、営業キロが 45.1 km と短く大手私鉄の中では小さい部類といわれる会社であるが、その実態はなかなか味のあるシッカリした会社のようなのである。

(3月20日に、「阪神なんば線」が開業し、近鉄と相互乗り入れすると営業キロ数は変更されるが、軌道の持ち主は、子会社の「西大阪高速鉄道株式会社」となる。)

味のある一つが、社名である。

多くの電鉄会社は、企業の成長とともに、出世魚のように社名を変更してきているが、阪神電鉄は、明治 32 年に

摂津電気鉄道株式会社 として発足し、その翌月には

阪神電気鉄道株式会社 と社名変更して以来、110 年間余

設立された当初の社名を頑なに守りつづけている。

阪神淡路大震災では、実に 41 両（当時、車両保有台数の 15% 相当）の車両を破損し、自動車フームに押されて再起不能か？ とまでささやかれていたのに、みごとによみがえり、「阪神ナンバ線」の開発を継続した心意気は立派なものであるとファンの間では評判になっている。



阪神電鉄の社章